



JALグループ、旅客サービスシステムにアマデウス社Alteaを採用

2014年7月31日

第 14093号

JALグループは、「2012～2016年度 JALグループ中期経営計画」において、ITシステムの更新を通じて、業務の効率化や高度化に向け取り組むこととしています。

このたび、旅客サービスシステム(*1)刷新において、Amadeus IT Group,S.A. (本社:スペイン、以下「アマデウス社」)(*2)との間で、同社が所有する「Alteaシステム(以下:「アルテア」」)(*3)を利用することに合意しました。

現在、JALグループでは国内線・国際線の旅客サービスシステムをそれぞれ自社で保有していますが、今後3年程度を目途に、これらを「アルテア」にアウトソーシングする予定です(*4)。

「アルテア」へのアウトソーシングのメリットは以下のとおりです。

1. 国内線/国際線のシステムプラットフォームを統合

お客さまのご予約情報を「アルテア」に一元化することで、国内線と国際線の乗り継ぎがよりスムーズになります。また、「アルテア」の導入により、ワンワールド各社のシステムとのさらなる連携強化が可能となります。

2. グローバルシステムへのアウトソース

「アルテア」へのアウトソースにより、各国の運賃制度の変更時など、これまでJALが個別に対応する必要があった機能が基本サービスとして提供されるようになり、世界のマーケットの変化に、より迅速に対応できます。さらに、固定費化しているシステム費用を、搭乗旅客数に連動した変動費とすることで、システム維持管理費用を低減します。

JALグループは、ITシステムの更新を通じて、これからも商品・サービス品質の向上に挑戦し、お客さまの利便性向上とさらなるサービスの拡充を図ってまいります。

*1 旅客サービスシステム:航空券の予約・発券・搭乗などをつかさどり、航空会社の旅客事業を支える基幹システムの総称。

*2 アマデウス社:スペイン・マドリッドに本社を置く世界規模の旅客サービスシステムのプロバイダー。

*3 Altea(アルテア)システム:アマデウス社が提供する航空会社向け旅客サービスシステム(予約、発券、搭乗など)のトータルソリューション。

*4 今般刷新するシステムは航空会社としてのシステムであり、日本地区のJAL国際線販売において旅行会社に利用いただくシステム((株)アクセス国際ネットワーク(JALグループ企業)提供)に変更はありません。日本地区のJAL国際線販売は、引き続き(株)アクセス国際ネットワークのシステム利用を推奨します。

以上